「いとしま元気づくり」本格始動～超少子高齢社会への挑戦～

平成23年度 当初予算の概要

平成23年度予算が3月の市議会定例会で可決されました。当初予算は、基本テーマに「『いとしま元気づくり』本格始動～超少子高齢社会への挑戦～」を掲げ、いとしま元気づくりと財政健全化の両立を図るための予算としています。この基本テーマの実現のため、7つの基本方針を定めています。

基本方針

①重点プロジェクトの確実な実行
②健康づくり元年
③いとしまブランドづくり
④いとしま環境都市づくり
⑤いとしま産業元気づくり
⑥いとしま安全・安心のまちづくり
⑦地域主権に向けた行財政改革の推進

平成23年度予算 総額576億4126万円

一般会計

今年度の一般会計の予算総額は317億2304万円。前年度が投資事業などの政策的経費を含まない骨格予算であったため、前年度予算より、28億2878万円（9・8%）増加しています。

歳入（グラフ①）

厳しい歳入状況

市税は、景気後退の影響による個人市民税の減などが見込まれるものの、全体としては0・5%減のほぼ同額を見込んでいます。地方交付税は14・3%増加し、総額として市税を上回る見込みです。これは国の地方に対する財政対策や合併団体への支援によるものです。

国庫支出金は、前年度予算が政策的経費を含んでいなかったこと、また子ども手当や生活保護費の増加などにより、8億4763万円（20・4%）の増加、県支出金は63億7991万円（34・3%）の大幅な増加となっています。

繰入金は、合併に伴う人件費の削減や行財政健全化の取り組みの効果で、財政調整基金からの取り崩しは行わないこととしています。

市では、行財政改革の推進による更なる歳出の削減を図りながら新たな歳入の確保をめざし、企業誘致活動などに取り組んでいます。

表① 市民1人当たりの主な収入

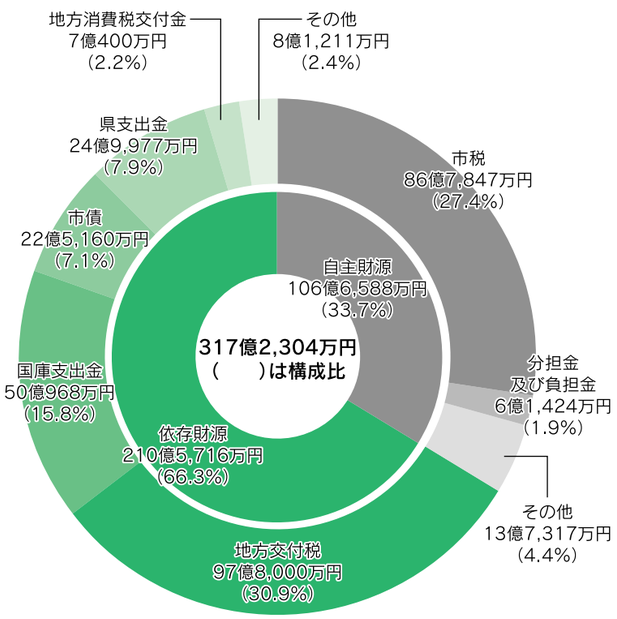
地方交付税	国・県支出金	市債（長期借入金）
97,620円	74,957円	22,475円

●市税のうち主なもの

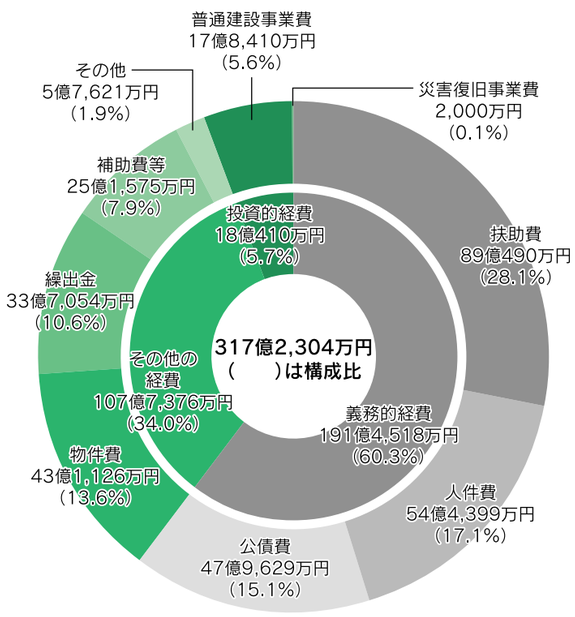
市税	市税のうち主なもの		
	市民税	固定資産税	たばこ税
86,625円	39,323円	41,273円	4,142円

※平成23年3月末現在の人口100,184人で計算

グラフ① ■歳入



グラフ② ■歳出（性質別）



表② 目的別歳出の内訳

民生費 131億1,086万円（1人当たりでは130,868円）	公債費 47億9,629万円（1人当たりでは47,875円）	衛生費 27億3,998万円（1人当たりでは27,350円）
障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護、人権センター、あごらなど	借入金の返済	ごみ処理やし尿処理、火葬場、健康推進事業など
総務費 27億2,041万円（1人当たりでは27,154円）	教育費 26億8,663万円（1人当たりでは26,817円）	諸支出金 13億6,766万円（1人当たりでは13,651円）
戸籍、徴税、市役所の管理、校区まちづくり、バス運行費補助、選挙など	小中学校、図書館、博物館、体育施設、社会教育、文化財の保護、文化振興など	基金の積み立てや下水道事業補助金など
農林水産業費 13億1,018万円（1人当たりでは13,078円）	消防費 10億5,109万円（1人当たりでは10,492円）	土木費 9億3,241万円（1人当たりでは9,307円）
農林水産業の振興、農林水産業施設整備、ファームパーク伊都国、交流体験広場など	常備消防、消防団、地域防災など	道路、河川、公営住宅、公園、駐輪場など
歳出総額317億2,304万円 1人当たりの予算 31万6,648円 1世帯当たりの予算 86万100円 ※平成23年3月末現在の人口100,184人、および世帯数36,888世帯で計算		その他 10億753万円（1人当たりでは10,056円） 議会費、商工費（商工業・観光の振興、九大との連携）、労働費（ふるさとハローワークなど）、災害復旧費、予備費

歳出（グラフ②）

性質別で見た歳出

人件費や公債費は減額となりましたが、福祉のための扶助費の増加により、義務的経費は8億3157万円（4・5%）増加し、柔軟な財政運営がさらに難しくなっています。

また、政策的経費の予算計上や子宮頸（けい）がん等ワクチン接種事業など、新規事業の実施に伴い、投資的経費や補助費等、物件費などが大幅に増加しています。

●民生費の大幅な増加

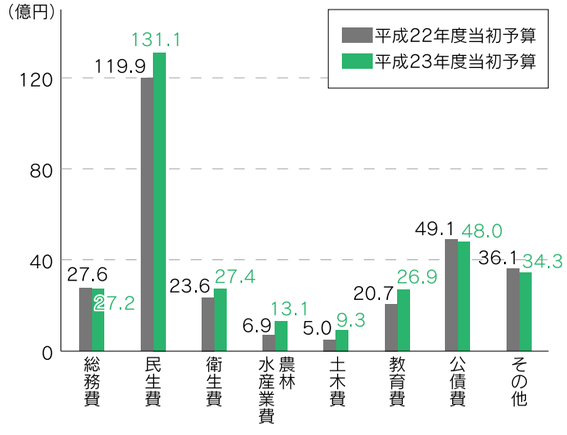
民生費が子ども手当の増額などで前年度より11億1962万円（9・3%）増加。歳出総額の41・3%を占め、突出した金額となっています。

農林水産業費や教育費、土木費、衛生費についても政策的経費の予算計上や子宮頸がん等ワクチン接種事業などの実施に伴い、大幅に増加しています。

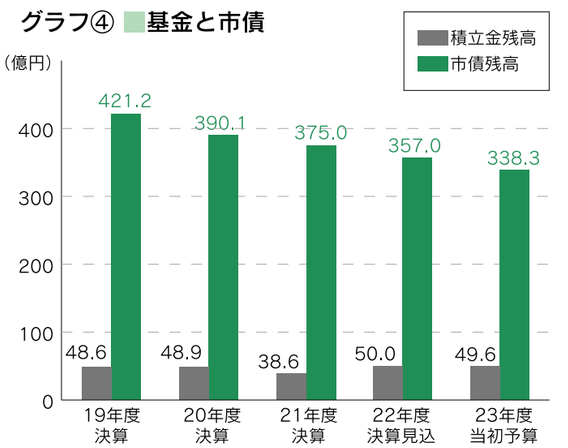
一方、公債費は投資事業抑制による市債発行の縮減や前年度に実施した繰上償還により、1億1279万円（2・3%）減少しています。

歳出予算額の推移（グラフ③・表②）

グラフ③ ■歳出予算額の推移（目的別）



グラフ④ ■基金と市債



基金と市債（グラフ④）

投資事業を抑制してきたため、市債残高は年々減少しており、償還についても、同様に減少しています。

また市では、財源不足が生じた場合や将来に事業を行うため、基金を積み立てています。

平成23年度予算では特定目的のための基金からの繰り入れに留めたため、今年度末では4075万円減の49億6142万円の残高見込みとなっています。